

平成 29 年度 武蔵野都市計画道路 3・4・2 号線（天文台通り）

第 1 回意見交換会 議事要旨

日 時 平成 29 年 10 月 22 日（日） 14:00～15:30
場 所 武蔵野スイングホール 11 階レインボーサロン
出席者 武蔵野市都市整備部 山家参事、まちづくり推進課池田担当係長、森野主任、内田主事
参加人数 38 名

■ご意見・ご質問

質問 みちづくり・まちづくりパートナー事業(以下、「みちまち事業」)とは、法的な事業なのか。

回答 天文台通りは都市計画道路であり、みちまち事業は基本的に都市計画法上の位置づけがある道路を整備する事業です。

質問 他のみちまち事業対象路線はあるのか。

回答 これまで吉祥寺通りの一部区間や武蔵境駅西側の道路でみちまち事業を行っていますが、今回の第三次みちまち事業においては、他に位置付けられた路線はありません。

質問 平成 38 年度までに道路工事の完了を目指すのか。過去の事例では何年要しているのか。

回答 基本的には事業期間である平成 38 年度までの 10 年間で、道路整備まで完了することを目標に掲げていますが、市内の過去のみちまち事業では、完成まで 13 年間かかった路線もあります。

質問 現況測量の結果、具体的に何がわかるのか。

回答 現況測量の結果、現況の建物や道路と都市計画道路の計画線との位置関係が明らかになります。

質問 将来的にどのような道路になるのか。完成区間と同様に、桜並木が整備されるのか。

回答 一般的に計画幅員が 16m の場合、車道 9m、歩道は両側に 3.5m となります。街路樹の樹種などの整備内容については、事業化の際に道路管理者である東京都と協議のうえ検討します。

質問 幅員 16m は決定事項なのか。今後変更することはできるのか。

回答 昭和 37 年に都市計画決定しており、計画幅員の変更は考えておりません。

質問 夜中に車が突っ込んできて壁などが壊れたこともある。非常に危険である。現時点で対策をしないのか。

回答 抜本的な対策は難しいと考えておりますが、警察や東京都と相談するなど、検討していきたいと思っております。

以上